

授業科目名	医療・福祉サービスの経営戦略論	科目コード	配当年次	単位
担当教員	小野 洋子	EK24	3・4	2

科目の概要

少子高齢化の急進や経済状況の変化により、日本の医療・福祉は大きな転換点にさしかかっている。医療機関や介護福祉事業の経営、さらには医療・福祉全体を良くするためには、医療機関等に従事する全ての職種が直面する問題を理解し、論理思考をもって取り組むことが必要となる。

本科目では医療経営学について学習し、医療福祉を取り巻く環境の変化や社会保障制度改革の動向を見据え、病院管理者の視点をもって、医療機関の経営戦略に重要な事項や戦略立案方法について掘り下げて考える力を養う。

科目の到達目標

- ① 医療経営に関する基本的な考え方や専門用語の意味を理解し、具体的にその概念を説明できる。
- ② 医療福祉制度の仕組みと改革の変遷を理解し、今後の動向を見通す視点が持てる。
- ③ 医療機関を取り巻く環境を踏まえて自院（または想定ケース）の経営課題を探索し、とるべき戦略についてロジカルに考察できる。

テキスト

『看護管理者のための医療経営学 第3版』尾形 裕也, 日本看護協会出版会, 2021年

テキストの読み方

- ① まず本書で学ぶ内容、第1部では本書の活用方法・ロジカルシンキング、第2部第1章では医療経営学の定義について確認する。巻末の基本用語集に目を通しておくとその後の学習に役立つ。
- ② 第2部第2～5項を精読し、社会保障制度の変遷・医療機関を取り巻く環境の変化について理解する。
- ③ 第2章・第3章の一般的な経営理論（概説）を学び、医療経営への応用、ケーススタディの考察と読み進め、経営学的手法を医療機関経営にどのように活用するかを学習する。
- ④ 第3部のまとめを読み、第2項の試験問題を解いてみる（答え合わせまで）。
- ⑤ その後、各自の身近にある諸課題について考察し、該当ページを読み返して理解を深める。

単位修得の方法

- ① リポート課題を提出し、60点以上であれば合格となり、科目修得試験を受験できる。科目修得試験の得点が60点以上であれば合格となり、評価が確定し、2単位を修得できる。または、
- ② スクーリングを受講し、合格すれば2単位を修得できる。この場合、リポート課題の提出と科目修得試験の受験は不要。